

シラバス (授業概要)				年度	2024年度		
時間数は45分換算				科目コード	H-K06		
授業科目名		授業形態		学科・コース			
情報リテラシーⅡ		演習		こども保育科			
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	前期	必修	30	1	梅原 萌子		
授業の目的・到達目標							
Microsoft Office の Word の操作及び実習を通して、それぞれのアプリケーションの理解を深め、検定合格を目指す。Word のメニューを使いこなし、最終目標として検定に合格するために、総合的な理解ができることが重要である。							
授業の概要							
MOS 試験範囲を確認しながら、各單元ごと理解度をチェックしていく。 模擬問題も繰り返し学習し、制限時間内 (50 分) に、検定合格目標ライン (80%) に到達できるように理解力を深める。							
成績評価の方法							
授業内での課題・小テスト・参加態度(学習意欲) を総合的に評価する。				課題	40%		
				小テスト	30%		
				学習意欲	30%		
使用テキスト・教材							
よくわかるマスターMOS Word 365&2019 対策テキスト&問題集 (FOM 出版)							
授業内容・授業計画							
1. アプリケーションのインストール、Word 復習 (図の挿入、表の作成)		時間数	2	5. 参考資料の作成と管理		時間数	4
2. 文書の作成と管理			4	6. グラフィック要素の挿入 書式設定			4
3. 文字、段落、セクションの書式設定			4	7. 模擬試験問題			6
4. 表とリストの作成			4	8. 検定試験			2
その他				関連科目			
				情報リテラシーⅠ・Ⅲ 情報処理入門Ⅰ・Ⅱ			

シラバス (授業概要)				年度	
				2024 年度	
				科目コード	
				H-K07	
授業科目名			授業形態		学科・コース
情報リテラシーⅢ			講義・演習		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	通年	必須	60	2	山崎 弘
授業の目的・到達目標					
MOS Excel365&2019 の合格を目標とする。当該試験の範囲1～5に関するソフトウェアの操作体系と操作スキルを定着させるとともに、模擬試験を実施することで合格するための攻略法を学ぶ。					
授業の概要					
<ol style="list-style-type: none"> ブック、ワークシート、セルの概念を理解し、これを対象とする操作を習得する テーブルとテーブルデータ管理を理解し、これを対象とする操作を習得する グラフの作成と変更および書式を理解し、これを対象とする操作を習得する 					
成績評価の方法					
試験（模擬試験1から5）：各模試を評価しその素点の平均とする 学習意欲：授業時の受講態度や授業への参加の姿勢などから総合的に評価する					試験 50% 学習意欲 50%
使用テキスト・教材					
MOS Excel365&2019 富士通エフ・オー・エム(株) 同テキスト 対策テキスト&問題集					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. ワークシートとブック			3. テーブル		
(1) ブック内の移動		1	(1) テーブル作成		1
(2) 書式設定		2	(2) テーブル変更		1
(3) オプション表示		1	(3) テーブルデータとレコード		2
(4) コンテンツ設定		2	4. 数式と関数		
(5) ブックへのインポート		1	(1) 参照		2
2. セルとセル範囲			(2) 加工		1
(1) データ操作		1	(3) 書式設定		2
(2) 範囲設定		1	5. グラフ		
(3) 名前付き範囲		1	(1) 作成		1
(4) スパークラインと組込み		2	(2) 変更		1
			(3) 書式設定		2
			6. 模擬試験 5回 (適時)		5
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	H-K08
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ビジネスマナー I		講義・演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必須	30	1	人材サポート 長崎一朗 富田美穂子 近田麻衣子
授業の目的・到達目標					
<p>「なぜ人は働くのか」通常、「経済的理由・社会的理由・個人的理由」と言われるが、どれに重きを置くかは、それぞれの価値観と置かれた環境に大きく影響される。この授業は、現実の社会、企業が求める人材、雇用情勢の把握と、その中で自分のあり方についての理解(自己分析)を深め、そこから進路選択につながるキャリア形成プランニングを体系化していく。さらに早い時期から就職活動への意識を高め、その実践のノウハウを習得する。変化していく雇用環境に対応できる自立人間と自律人材になることを目標とし、その礎となる授業である。</p>					
授業の概要					
<p>キャリアデザインの考え方を理解し、社会に通用する人材になるための指標を持つ。時間の意識・挨拶等マナーの理解と実践・スピーチカトレニング・ディスカッション等によりEQコミュ ニケーション力の強化も図る。就職環境・業種・職種・企業の理解促進。自己分析のワークシート(課題)と履歴書(課題)を作成し、今後の就職活動にも連動していく。</p>					
成績評価の方法					
<p>出席日数・キャリアデザイン自己分析ワークシート記入内容・履歴書記入内容・レポートの結果 や取り組み状況に基づき、成績評価を行う。ワークシートへは詳細に記入することを心掛けてください。</p>					<p>課題 80% 学習意欲 20%</p>
使用テキスト・教材					
<p>「就活のコツ／静岡新聞社」 授業に関するテキスト以外の資料は、授業の中で適時プリントを配布します</p>					
授業内容・授業計画					
	時間数				時間数
1 ①就職できる力/ワーク①天職探索	2	10 ⑩エントリーシート ⑪自己PR 動画			2
2 ②夢を描く/ワーク②10年後のありたい自分 ワーク③学生生活経歴書	2	/ワーク⑬エントリーシート ワーク⑭自己PR			
3 ③業種・職種の理解/ワーク④成功体験	2	11 ⑬面接の受け方			2
4 ④何ができる何がしたい ⑭ステップアップ /ワーク⑤失敗体験	2	⑮集団・グループディスカッション			
5 ⑤自分を知る自己分析/ワーク⑥自己ワークシート	2	⑯オンライン面接			
6 ⑥⑦求人票・求人情報/ワーク⑦他己ワークシート	2	/ワーク⑯面接対策 ワーク⑰面接質問			
7 ⑧職場訪問/ワーク⑧仕事探索 ワーク⑨未来予想 ワーク⑩未来スケジュール	2	12 ⑰添え状			2
8 ⑨インターンシップ /ワーク⑪就職条件⑫インターンシップワーク	2	⑱電話のかけ方			
9 ⑩履歴書 /ワーク⑬履歴書※「学校指定」履歴書	2	⑳筆記試験			
		/ワーク⑳封筒・添え状・お礼ワーク			
		13 キャリアデザイン論総括			2
		14 就職ゼミ			4
その他		関連科目			
企業が求める常識力、規律意識、ビジネスマナーを授業でも心掛けてください。					

シラバス (授業概要)				年度	
				2024年度	
				科目コード	
				H-K09	
授業科目名			授業形態		学科・コース
ビジネスマナーⅡ			講義・演習		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	前期	必修	30	1	森主 あゆみ
授業の目的・到達目標					
ビジネスマナーⅠで学んだ基本的マナー・エチケットをさらに磨き、今後の実習や就職活動に活かすことができる。					
授業の概要					
ビジネスマナーを学びより人間関係を構築し、保育者としての表現向上を目指す。マナーやエチケットを心得ることで、コミュニケーションスキルを高めることが出来る。					
成績評価の方法					
課題と学習意欲を総合的に評価する。提出物については要求された機能が実現しており、かつ、決められた期日までに提出することが最低条件である。提出物が1つでも未提出であれば、成績の評価は行われない。					課題 50% 学習意欲 50%
使用テキスト・教材					
未定					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 課題設定、職業人としての基本知識	2	8. 訪問のマナー	2		2
2. 立ち居振る舞い	2	9. 接遇	2		2
3. 言葉遣い (敬語 言葉と表現)	2	10. 冠婚葬祭 (慶弔 弔事)	2		2
4. 言葉遣い (言葉を選ぶ)	2	11. 冠婚葬祭 (見舞い 贈答)	2		2
5. 言葉遣い (表現の仕方)	2	12. ビジネス文書 (文書表記)	2		2
6. 電話対応 (言い回し 事例)	2	13. ビジネス文書 (通信文)	2		2
7. 電話対応 (受ける かける)	2	14. 対人コミュニケーション (忠告)	2		2
		15. 対人コミュニケーション (依頼)	2		2
その他			関連科目		
			ビジネスマナーⅠ		

シラバス (授業概要)				年度			
				2024年度			
				科目コード			
				H-K12			
授業科目名			授業形態		学科・コース		
一般教養			講義		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
3	通年	必修	60	4	吉村 香央里		
授業の目的・到達目標							
<p>公務員試験に対応できるよう、調査・受験手続などを行う。</p> <p>また、新聞の読み方など社会人に必要な知識として、話題の時事ネタを中心に討論やグループワークを行い、その内容をプレゼンテーション出来るようにする。</p>							
授業の概要							
<p>公務員試験について、受験自治体の実施計画を調査する。また、1次試験対策を行う。</p> <p>社会人としての基礎知識として、新聞内容を読み解き 自分の考えを述べる。また、ディベート・グループワークを経験し、プレゼンテーションも行う。</p>							
成績評価の方法							
<p>単元ごとの課題と期末試験</p> <p>課題を調査・発表</p> <p>課題への取り組み態度を学習意欲とする</p> <p>以上3点を総合的に評価する。</p>					<p>期末試験 70%</p> <p>学習意欲 30%</p>		
使用テキスト・教材							
なし							
授業内容・授業計画							
			時間数			時間数	
1	自治体の公務員試験実施計画を調査		4	5	新聞を読む		4
2	各自治体の実施計画をリマインド		2	5.1 直近1週間の新聞			
3	公務員試験対策		20	6	昨日のニュース		8
	3.1 専門試験対策			6.1 政治の話題に触れる			
	3.2 教養試験対策			6.2 保育の話題に触れる			
	3.3 実技試験対策			7	テーマを決めて		12
4	エントリーシートの書き方			7.1 ディベート			
	4.1 一般的なエントリーシート記入		4	7.2 グループワーク			
	4.2 各自治体のエントリーシートに挑戦		6	7.3 プレゼンテーション			
その他				関連科目			

シラバス (授業概要)				年度	
時間数は45分換算				2024年度	
				科目コード	
				H-K14	
授業科目名			授業形態		学科・コース
特別活動II			実技・演習		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	60	2	吉村 香央里
授業の目的・到達目標					
校外での集団行動も多く取り入れ、チームワークなど教室の授業では得られないコミュニケーション能力の向上ができるようになる。					
授業の概要					
学校行事として、各種行事（遠足・スポーツフェスティバル）や特別講座などに参加する。					
成績評価の方法					
認定科目のため、参加態度（学習意欲）で評価する。 また、保育（夏・冬）特別講座については、報告書（課題）にて評価する					課題 50% 学習意欲 50%
使用テキスト・教材					
なし					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 各種イベント			26		
2. 特別講座			8		
3. 春の遠足			8		
4. 防災訓練			2		
5. スポーツフェスティバル（草薙体育館）			8		
6. 秋の遠足			8		
その他				関連科目	

シラバス (授業概要)				年度	
時間数は45分換算				2024年度	
				科目コード	
				H-K15	
授業科目名			授業形態		学科・コース
特別活動Ⅲ			実技・演習		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	通年	必修	60	2	榛葉 幸子
授業の目的・到達目標					
校外での集団行動も多く取り入れ、チームワークなど教室の授業では得られないコミュニケーション能力の向上ができるようになる。					
授業の概要					
学校行事として、各種行事（遠足・スポーツフェスティバル）や特別講座を受講する。					
成績評価の方法					
認定科目のため、参加態度（学習意欲）で評価する。 また、保育特別講座については、報告書(課題)にて評価する。					課題 50% 学習意欲 50%
使用テキスト・教材					
なし					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 各種イベント			24		
2. 春の遠足			8		
3. 保育特別講座			8		
4. 救急法			2		
5. 防災訓練			2		
6. スポーツフェスティバル 草薙体育館			8		
7. 秋の遠足			8		
その他				関連科目	

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	H-K23
授業科目名		授業形態		学科・コース	
子ども家庭福祉		講義		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	2	工藤 豪
授業の目的・到達目標					
子ども家庭福祉に関する基本的知識を身につけるとともに、子ども家庭福祉をめぐる制度や施策の特徴、少子化や子育て環境における課題について理解し、自らの言葉で説明できるようになる。					
授業の概要					
少子化の進行や地域社会の稀薄化に象徴されるように、わが国の子どもをめぐる環境は急速に変容しているが、その中で、子どもの健やかな育ちをどのように支援していくべきなのであろうか。本授業では、子ども家庭福祉の理念と対象、児童福祉に関する制度の展開、少子化に関する特徴と課題、保育・子育て支援サービスや子どもをめぐる社会環境などについて理解を深めていく。					
成績評価の方法					
試験(試験)、作業プリントやリアクションペーパーの内容等(課題)、授業時の受講態度やグループ考察時の参加姿勢など(学習意欲)、以上から総合的に評価する。				試験	50%
				課題	25%
				学習意欲	25%
使用テキスト・教材					
『新・子ども家庭福祉[第2版]』(2024、浦田雅夫編著、教育情報出版)					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. オリエンテーション・子ども家庭福祉の理念		2	9. 少子化(2)ー少子化の要因ー		2
2. 「児童福祉」から「子ども家庭福祉」への変化・転換		2	10. 少子化(3)ー少子化と子育て支援施策ー		2
3. 親権と子ども		2	11. 児童虐待の概要と特徴		2
4. キーワードからみる子ども観(1)ー捨て子・墮胎・跡取りー		2	12. 子育てに関する経済的支援		2
5. キーワードからみる子ども観(2)ー愛着理論と3歳児神話ー		2	13. 保育所・幼稚園・認定こども園の概要と特徴		2
6. 児童福祉の展開(1)ー戦前ー		2	14. 放課後児童健全育成事業について		2
7. 児童福祉の展開(2)ー戦後ー		2	15. 子どもの存在と母子保健に関する動向		2
8. 少子化(1)ー出生数・合計特殊出生率の推移とその背景ー		2			
その他		関連科目			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	H-K24
授業科目名		授業形態		学科・コース	
保育原理		講義・演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	2	森下 みつ美
授業の目的・到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・保育の意義、目的や保育所保育指針における保育の基本、保育についての思想や歴史について知ることができる。 ・子どもを援助するうえでの保育の内容と方法の基礎事項が理解できる。 					
授業の概要					
基本教科書に沿って授業を進めていくが、キーワードとなる人物やワードには補足して説明する。保育の現状と課題について考察し、グループワークや発表を通して、保育に対するいろいろな考え方を知り、また、自分なりの見識が持てるようにしていく。1年時に学習した教育原理と重複内容もあるため、復習しながら進めていく。					
成績評価の方法					
期末試験、課題（小レポート）、学習意欲（授業態度・発表・出欠状況）を総合的に判定し評価する。小レポートは授業内で実施するが、決められた期日までの提出と課題内容の記述があることが求められる。				期末試験	40%
				課題	30%
				学習意欲	30%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・保育原理（近畿大学九州短期大学発行） ・新基本保育シリーズ 保育原理（中央法規） ※必要なプリントを配布する					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 幼児期の特質と保育の意義			6. 保育の目的		2
1-1 乳幼児期の特質と保育の意義		2	7. 保育の内容・方法		2
1-2 乳幼児期の発達的特質		2	8. 保育の計画・評価		
2. 保育思想と児童観の変遷			8-1 保育の計画		2
2-1 古代～近世		2	8-2 保育の評価		2
2-2 近代幼児教育思想の形成		4	9. さまざまな保育と課題		2
3. 近代保育施設・制度の創設と発展		2			
4. 各国の保育		2			
5. 我が国における幼稚園・保育所の成立と変遷		2			
5-1 幼稚園		2			
5-2 保育園		2			
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)				年度	
				2024年度	
時間数は45分換算				科目コード	
				H-K26	
授業科目名			授業形態		学科・コース
子ども家庭支援論			講義		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	30	2	工藤 豪
授業の目的・到達目標					
子どもと家庭に関する基本的知識を身につけるとともに、現代の日本社会で家庭支援を行う意義や家庭への個別的な支援における特徴や課題について理解し、自らの言葉で説明できるようになる。					
授業の概要					
核家族化やきょうだい数の減少および地域社会の稀薄化などにより、わが国で伝統的に行われてきた家庭の機能・役割が縮小している中、保育者による家庭支援の意義・必要性が高まっている。そのような社会の変容を踏まえ、子どもと家庭における特徴や抱える課題を把握し、制度を活用しながら多様な家庭を支援していく方法について理解を深めていく。					
成績評価の方法					
試験（試験）、作業プリントやリアクションペーパーの内容等（課題）、授業時の受講態度やグループ考察時の参加姿勢等（学習意欲）、以上から総合的に評価する。				試験	50%
				課題	25%
				学習意欲	25%
使用テキスト・教材					
渡邊 暁ほか編著、2024、『実践で役立つ 子ども家庭支援論』ミネルヴァ書房					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. オリエンテーション・家庭支援を行う意義と求められる背景		2	9. 保育と家庭（1）－家庭支援に関わる法・制度と保育士の役割－		2
2. 子どもと家庭（1）－家族と世帯－		2	10. 保育と家庭（2）－子どもと家族を支援するサービス・専門機関・地域活動－		2
3. 子どもと家庭（2）－認識・規範としての家族－		2	11. 家庭への支援（1）－保育所等を利用する子どもの家庭への支援－		2
4. 子どもと家庭（3）－実態・同別居としての家族－		2	12. 家庭への支援（2）－地域の子育て家庭への支援－		2
5. 子どもと家庭（4）－現代社会における家族の機能－		2	13. 家庭への支援（3）－子どもを産み育てるライフコースとその障壁－		2
6. 子どもと家庭（5）－時代の推移にともなう子育て環境の変容－		2	14. 家庭への支援（4）－支援の展開過程とジェノグラムの作成－		2
7. 子どもと家庭（6）－親になるプロセスとリプロダクティブヘルス/ライツ－		2	15. 授業のまとめ		2
8. 子どもと家庭（7）－乳幼児期の子どもと子育て		2			
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)				年度		
				2024年度		
				科目コード		
				H-K27		
授業科目名			授業形態		学科・コース	
幼児への特別な支援			講義		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	通年	必須	15	1	前田 基子	
授業の目的・到達目標						
<p>特別な支援を必要とする幼児の特性と心身の発達や課題、および学びの過程を理解する。</p> <p>特別支援教育や障害がある幼児の保育に関する制度や仕組みを理解する。</p> <p>特別な支援を必要とする幼児への支援の方法について例示することができる。</p>						
授業の概要						
<p>特別な支援を必要とする幼児の様々な特性と発達を理解し、障害によっても異なる支援の方法を学ぶ。</p> <p>さらに障害がある幼児、児童に対する現在の特別支援教育、幼児に関する支援の制度や仕組みを理解する。また、保育士が支援する際の一人ひとりに合わせた支援計画のたて方、他機関や家庭との連携の必要性や留意点について学ぶ。</p>						
成績評価の方法						
<p>期末試験、課題（課題に対する考察や記述の内容）、学習意欲（受講態度及び取り組み姿勢）を総合的に評価する。</p>				期末試験	40%	
				課題	30%	
				学習意欲	30%	
使用テキスト・教材						
<p>幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領 よくわかる障害児保育 第2版（尾崎康子・小林真・水内豊和・阿部美穂子編 ミネルヴァ書房）</p>						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. 乳幼児期の発達課題と障害特性			2	7. 個別の指導計画と個別の教育支援		2
2. 様々な障害がある幼児（視覚障害・聴覚障害・肢体不自由児・病弱、言語障害）の理解と支援			2	計画を作成するための基礎知識(1)		
3. 多様な支援を必要とする幼児（外国につながる子ども、貧困の子ども）の理解と支援			2	8. 個別の指導計画と個別の教育支援		2
4. 特別支援教育に関する理念と制度の仕組み			2	計画を作成するための基礎知識(2)		
5. 「通級による指導」及び「自立活動」の教育課程上の位置づけと内容			2			
6. 園内連携と家庭及び関係機関との連携			2			
その他				関連科目		

シラバス (授業概要)			時間数は45分換算		年度	2024年度
					科目コード	H-K28
授業科目名			授業形態		学科・コース	
子どもの食と栄養			講義・演習		子ども保育科	
履修学年			時間数	単位数	担当教員	
2	後期	必修	15	1	末永 美雪	
授業の目的・到達目標						
小児の発達・発育の特性、健康・栄養に関する基本的な知識を踏まえ、小児期における発達段階に応じた栄養法、食生活、集団給食（保育所給食）、食育の重要性を理解する。						
授業の概要						
保育者として、子どもに適切な食事環境を提供できるよう、それぞれの発達段階の特性や、栄養について理解させ、調理技能の習得を目指す。						
成績評価の方法						
期末試験と課題、平常点（学習意欲）を総合的に評価する					期末試験	50%
					課題	30%
					学習意欲	20%
使用テキスト・教材						
テキスト：二見大介・高野 陽 編著、『子どもの食と栄養』、北大路書店 2017年版 参考文献：『食品成分表』 女子栄養大学出版部 菅原 園他『発育期の子どもの食生活と栄養』、学建書院						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1、栄養に関する基礎知識			2			
2、乳児期の授乳栄養について			4			
3、離乳栄養について			4			
4、幼児期の栄養について			2			
5、幼児期の栄養上の問題点と食育			2			
6、小児期の食生活について			2			
その他			関連科目			
			子どもの食と栄養S			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	H-K29
授業科目名		授業形態		学科・コース	
子どもの保健		講義・演習 グループワーク		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	2	池ヶ谷 麻紀子
授業の目的・到達目標					
<p>[目的] 子どもの心身の健康の維持増進のために、保育者に必要な知識と技術を身につけることができる</p> <p>[目標] 子どもの保健の概要がわかり、保育実践に活かすための知識を身につける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの健康な発育・発達を理解できる ・子どもの健康を妨げる要因を知り、その対応について、実践につながる知識・技術を身につけることができる ・保育者として、子どもの保健における自己の役割について考えることができる 					
授業の概要					
<p>講義、演習を中心に、子どもの健康に関して実践につながる内容を学習する。</p> <p>近年の子どもの健康に関心を持ち、保育者としての保健的視点を身につけていく。</p>					
成績評価の方法					
<p>1. 学習意欲 子どもの健康に対する自分なりの考えを持ち、他者に伝えようとしているか、他者の意見を聞くことができているか、で評価する。</p> <p>2. レポート 授業で得た知識を基に、自分の考えをきちんと持ち、他者にわかりやすく伝えることができるかを評価する。</p> <p>3. 期末試験 保育者に必要な知識が身につけているかを評価する。</p>				<p>期末試験 50%</p> <p>レポート 20%</p> <p>学習意欲 30%</p>	
使用テキスト・教材					
<p>よくわかる子どもの保健 (ミネルヴァ書房)</p> <p>講師が得た最新の情報があれば、授業の中で情報提供します</p>					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 子どもの保健とは		1	4. 子どもの疾病		8
2. 子どもの発育			5. 子どもの障害のとらえ方		2
2-1. 子どもの運動機能の発育		2	6. 現代社会における子どもの健康課題		2
2-2. 子どもの生理機能の発育		4	7. 子どもの健康に関する		
2-3. 子どもの精神発育		2	社会的取り組み		2
3. 子どもの健康な生活			8. 子どもの保健における保育者の役割		1
3-1. 食事		2			
3-2. 睡眠		2			
3-3. 清潔		2			
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	H-K30
授業科目名		授業形態		学科・コース	
保育の心理学		講義・演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	30	2	内野 千珠子
授業の目的・到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・保育実践に関わる発達理論等の心理学的知識を踏まえ、発達を捉える視点について理解できる。 ・乳幼児期の子どもの学びの課程や特性とウェルビーイングな保育について基礎的な知識を習得し、保育者として重要な「見通し」を持った発達の支援が実践できることを目標とする。 					
授業の概要					
<p>子どもの発達に関わる心理学の基礎を習得し、養護及び教育の一体性や発達に即した援助の基本となる子どもへの理解を深める。ウェルビーイングについての理解を深め、保育者としての在り方を考え、他者とのコミュニケーションを図る演習も取り入れる。</p>					
成績評価の方法					
期末試験、課題（一定の授業後のレポート）における理解度と表現力、授業に取り組み積極的な姿勢（学習意欲）を総合的に評価する。				期末試験	50%
				課題	30%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
教科書： 保育の心理学（近畿大学九州短期大学発行） その他： 必要に応じてプリント配布					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. オリエンテーション・マインドセット		1	8. 子どもと保育者の強みに注目する		
2. 発達を捉える視点			8-1 強みを知る意義		2
2-1 子どもの発達を理解することの意義		1	8-2 強みを活かす・育てる		2
2-2 子どもの発達と環境		2	9. ストレスマインドセット		2
2-3 発達理論と子ども観・保育観		2	10. セルフコンパッション		
3. 社会情動的発達		4	10-1 感情の3つの制御		1
4. 認知の発達		2	10-2 セルフコンパッションを高める		1
5. 道徳性の発達		2	11. 期末試験		2
6. 学びの動機づけ		2			
7. ウェルビーイング保育					
7-1 ウェルビーイングを高める意義		2			
7-2 ウェルビーイングを高める方法		2			
その他		関連科目			

シラバス (授業概要)				年度							
				2024年度							
				科目コード							
				H-K31							
授業科目名			授業形態		学科・コース						
子ども家庭支援の心理学			講義		こども保育科						
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員						
2	後期	必修	30	2	実務経験のある教員						
授業の目的・到達目標											
<ul style="list-style-type: none"> 生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得し、初期経験の重要性、発達課題等について理解できる。 家族・家庭の意義や機能を理解するとともに、親子関係や家族関係などについて発達の観点から理解し、子どもとその家庭を包括的に捉える視点が習得できる。 子育て家庭をめぐる現代の社会状況と課題について理解できる。 子どもの精神保健とその課題について理解できる。 											
授業の概要											
生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得できるよう、初期経験の重要性、発達課題等について、家族・家庭の意義や機能を学んでいく。また、子育て家庭をめぐる現代の社会状況や子どもの精神保健についても考え、それらの課題についても理解できるようにしていく。											
成績評価の方法											
<p>期末試験の結果、演習課題の評価点、学習意欲（授業態度）を総合評価したうえで決定する。実習課題については、要求された機能が実現しており、かつ、決められた期日までに提出することが最低条件である。実習課題が1つでも未提出であれば、成績の評価は行われない。</p>				<table border="1"> <tr> <td>期末試験</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>課題</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>学習意欲</td> <td>20%</td> </tr> </table>		期末試験	50%	課題	30%	学習意欲	20%
期末試験	50%										
課題	30%										
学習意欲	20%										
使用テキスト・教材											
テキスト：子どもの家庭支援の心理学（中央法規）											
授業内容・授業計画											
		時間数			時間数						
1. 生涯発達			3. 子育て家庭に関する現状と理解		2						
1-1 乳幼児期から学童期前期にかけての発達		2	3-1 子育てを取り巻く社会的状況		2						
1-2 学童期後期から青年期後期にかの発達		2	3-2 ライフコースと仕事・子育て		2						
1-3 成人期・老年期における発達		2	3-3 多様な家庭とその理解		2						
2. 家庭・家族の理解			3-4 特別な配慮を要する家庭		2						
2-1 家族・家庭の意義と理解		2	4. 子どもの精神保健とその課題								
2-2 親子関係・家族関係の理解		2	4-1 子どもの生活・生育環境とその影響		4						
2-3 子育ての経験と親としての育ち		2	4-2 子どもの心の健康に関わる問題		4						
その他			関連科目								
			保育の心理学 子ども家庭支援論								

シラバス (授業概要)				年度		
				2024年度		
				科目コード		
				H-K35		
授業科目名			授業形態		学科・コース	
教育相談			講義		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	後期	必須	30	2	実務経験のある教員	
授業の目的・到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの気持ちを深く理解し、共感的な対応が柔軟にできる。 ・子どもをめぐる諸問題について、自分自身の体験に基づき、更に学んだ知識を活用して、論理的に思考し、意見を述べたり書いたりすることができる。 ・保育や教育の現場での様々な子どもの発達課題についての基礎知識とスキルを習得する。 ・発達障害、児童虐待、日本で暮らす外国につながる子どもたち、登園渋り・不登校など、子どもをめぐる問題についての知識を学び、考える力を身につけることを目的とする。 						
授業の概要						
<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談の基礎的事項について学ぶ。 ・カウンセリング理論およびアセスメント技法について学ぶ。 ・不登校・いじめ・非行・発達障害・虐待の知識を深める 						
成績評価の方法						
レポート・学習意欲を総合的に評価する。レポート、学習意欲（授業態度）を総合評価したうえで決定する。実習課題については、要求された機能が実現しており、かつ、決められた期日までに提出することが最低条件である。実習課題が1つでも未提出であれば、成績の評価は行われない。					期末試験 50% 課題 30% 学習意欲 20%	
使用テキスト・教材						
テキスト：子育て支援カウンセリング～幼稚園・保育園で行う保護者の心のサポート～（石川洋子/図書文化） 必要に応じてプリント配布						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. オリエンテーション			2	11. 教育相談の実際- 思春期		2
2. 教育相談の基本			2	12. 教育相談の実際-子どもの絵		2
3. 教育相談と心理アセスメント技法			2	13. 教育相談の実際-ネット社会		2
4. 子どもの自己理解を進める技法			2	14. レポート		2
5. 園児への心理的援助			2	15. まとめ		2
6. 小学校における児童への心理的援助			2			
7. 中学校における児童への心理的援助			2			
8. 教育相談の実際- 不登校			2			
9. 教育相談の実際- 引きこもり			2			
10. 教育相談の実際- 発達がいとの関係			2			
その他				関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度	
				科目コード	H-K36	
授業科目名		授業形態		学科・コース		
保育・教職実践演習		講義・演習		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
3	前期	必修	15	1	森主 あゆみ	
授業の目的・到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・自らの学びを振り返り、保育者として必要な知識・技能の習得を確認する。 ・保育者としての使命や職務内容を理解し、コミュニケーション能力を習得する。 						
授業の概要						
<p>これまでの学習と実習を振り返り、自分の学びや課題に気づき、理想とする保育者像に近づくためにはどのようにすればよいのか具体策を考え、不足している知識や技能を補い定着を図る。</p>						
成績評価の方法						
<p>学習意欲（発表を含める）、課題の評価点を総合評価したうえで決定する。 提出物については要求された機能が実現しており、かつ、決められた期日までに提出することが最低条件である。提出物が1つでも未提出であれば、成績の評価は行われない。</p>					<p>課題 50% 学習意欲 50%</p>	
使用テキスト・教材						
幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領（フレーベル館）						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. オリエンテーション 保育・教職実践演習について			2			
2. 保育者の役割と職務内容			2			
3. 自分の理想とする保育者像とは			2			
4. 自分の得意と課題を知る			2			
5. 課題を解決するための方策を考える			4			
6. グループワーク（アイデア集作成）			4			
その他				関連科目		
				保育・教職実践演習 S		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	H-K38
授業科目名		授業形態		学科・コース	
乳児保育 I		講義・演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	2	森下 みつ美
授業の目的・到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・0.1.2歳児の発育と発達の特徴について理解することができる。 ・保育者として必要な知識と技能の基礎を身につける。 					
授業の概要					
<p>基本教科書に沿って授業を進めていくが、キーワードとなる考え方やワードには補足して説明する。乳児の接し方については、教員が実演したり、学生に実践してもらったりして技能を獲得できるようにする。計画立案や書類作成においては実際に書く機会を設ける。</p>					
成績評価の方法					
期末試験、課題（小レポート・課題提出）、学習意欲（授業態度・発表・出欠状況）を総合的に判定し評価する。課題においては、決められた期日までの提出と課題内容に沿ったものであることが求められる。				期末試験	40%
				課題	30%
				学習意欲	30%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・はじめて学ぶ乳児保育 同文書院 ・保育所保育指針 認定こども園教育保育要領 ※必要なプリントを配布する					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 乳児保育はなぜ必要か	2	6. 様々な乳児保育の考え方			2
2. 乳児保育の歴史と現状	2	7. 乳児のこころ・ことば・からだの発達			4
3. 乳児保育にまつわる法律	2	8. 乳児保育における複数担任制			2
4. 保育所保育指針とは	2	9. 乳児の一日の流れ			2
5. 保育所保育指針における乳児保育のポイント		10. 保護者との連携			2
5-1 6か月未満の子どもの育ち	2	11. 発達の遅れと向き合う			2
5-2 6か月以上1歳未満の子どもの育ち	2				
5-3 1歳以上2歳未満の子どもの育ち	2				
5-4 2歳～3歳の子どもの育ち	2				
その他		関連科目			
		乳児保育II S			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	H-K40
授業科目名			授業形態		学科・コース
音楽Ⅱ			演習		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必須	90	3	川嶋 伸子
授業の目的・到達目標					
保育士・幼稚園教諭として必要なコードネームを理解し、簡単な伴奏付け演奏ができる。また、実習や就職試験をふまえ、子どもの曲のレパートリーを増やす。					
授業の概要					
音楽の楽しさを感じ、将来、子どもたちへ音楽の楽しさを伝えられる保育者になるよう、童謡曲を始め、様々な子どもの曲を知り、様々な表現方法を習得する。					
成績評価の方法					
<ul style="list-style-type: none"> ・実技試験 ・課題 (授業内での課題) ・学習意欲 (課題以上のもの。プラスアルファ) 以上を基に総合評価する。				期末試験	50%
				課題	25%
				学習意欲	25%
使用テキスト・教材					
近畿大学九州短期大学 音楽ピアノ教本、 ジュニアクラスの楽典テキストワーク、随時配布するプリント					
授業内容・授業計画					
	時間数		時間数		時間数
オリエンテーション、レッスン	4	レッスン、弾き歌い、コード演奏	2		
春休み課題確認、コード演奏 (C)		(C, Em, Am, Dm, G7,)	4		
レッスン、弾き歌い、コード演奏 (G7)	4	レッスン、弾き歌い、コード演奏 (Am, Dm, E7, Am)	2		
レッスン、弾き歌い、コード演奏 (伴奏パターン変化①)	4		4		
	2	レッスン、弾き歌い、コード演奏 (G, C, D7, G)	4		
		レッスン、弾き歌い、コード演奏 (C, D7, G, C)	4		
レッスン、弾き歌い、コード演奏 (F)	4	レッスン、弾き歌い、コード演奏 (F, B♭, C7, F)	2		
レッスン、弾き歌い、コード演奏 (伴奏パターン変化2)	3		2		
	3	レッスン、弾き歌い、コード演奏 (C, C7, F, G7, C)	4		
		レッスン、弾き歌い、コード演奏 (経過コード)	4		
レッスン、弾き歌い、コード演奏 (C, Dm, G7, C)	3	実技試験にむけてレッスン	4		
レッスン、弾き歌い、コード演奏 (C, Am, Dm, G7, C)	4		2		
実技試験にむけてレッスン	4		4		
	3		4		
前期実技試験	4	後期実技試験	2		
その他			関連科目		
			音楽Ⅰ・音楽Ⅲ		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度						
				科目コード	H-K41						
授業科目名			授業形態		学科・コース						
音楽Ⅲ			演習		こども保育科						
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員						
3	通年	必須	90	3	中津川 百世						
授業の目的・到達目標											
弾き歌いを中心に歌詞の内容に興味を持ち想像力を豊かにし、より深く理解する。またレパートリーを増やしていきながら、すでに持っているレパートリーを強化し、保育現場で自信を持ってピアノ伴奏に対応できる力をつける。またピアノ以外でも自分の得意な事を見つけ認識させて伸ばしていく。コードネームの意味を理解し、自分のレベルに合った伴奏付けを出来る様にする。											
授業の概要											
「音楽の楽しさ」を伝えることができる幼児教育者となる為に 必要な表現力、技術力を身に付ける段階として、「歌うこと」「弾くこと」のレベルを上げる。特に弾く事に関しては、個々で得意、不得意をきちんと認識し、不得意に対しての解決法を学んでいく。											
成績評価の方法											
<ul style="list-style-type: none"> ・実技 うた ・授業での学習意欲、参加態度 ・課題 他 				これらを総合的に評価する。 <table border="1"> <tr> <td>期末試験</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>課題</td> <td>25%</td> </tr> <tr> <td>学習意欲</td> <td>25%</td> </tr> </table>		期末試験	50%	課題	25%	学習意欲	25%
期末試験	50%										
課題	25%										
学習意欲	25%										
使用テキスト・教材											
近畿大学九州短期大学 音楽ピアノ教本 ピアノといっしょに 保育園、幼稚園でたのしめる 子どものうた大全集(出版社 ケイ・エム・ピー) その他、必要に応じてプリントを配布											
授業内容・授業計画											
		時間数			時間数						
1.生活のうた		8	7.秋のうた		6						
2.実習準備(夏のうた)		12	8.冬のうた		6						
3.春の歌		6	9.行事のうた		6						
4.コード付		10	10.卒園のうた		8						
5.前期試験対策		10	11.期末試験対策		10						
6.前期試験		4	12.期末試験		4						
その他			関連科目								
ピアノを演奏する事が楽しいと思えるようになる為にも、自主練習がとても大切になります。少しずつであっても、努力、進歩を感じる事ができる1年にしていきましょう。			音楽Ⅰ・音楽Ⅲ								

シラバス (授業概要)					年度		
					2024年度		
時間数は45分換算					科目コード		
					H-K43		
授業科目名			授業形態		学科・コース		
実習指導Ⅱ			必修		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	通年	必修	60	2	吉村 香央里		
授業の目的・到達目標							
保育実習・教育実習の意義、目的や各施設と役割について理解し、自らの課題を明確にできる。また、実習へむけて必要な知識、マナー、子どもとの関わり方を身に着け、実習に対する不安や困難を軽減する。							
授業の概要							
<ul style="list-style-type: none"> ・テキストを使用しながら、実習に必要な知識、マナー、子どもや保育者との関わり方、トラブルが起きた時の対策など具体的に学び、実習で活かせるようにする。また、実際に実習で役立つ教材などを製作する。 ・テーマに沿っての自分の考えや不安をグループやクラスで話し合う中で気持ちを共有する。また、不安をそのままにせず解決策を考えたり提示したりすることで自信を持って実習に臨めるようにする。 							
成績評価の方法							
学習意欲 (授業態度・グループワークでの取り組みや発表)、課題 (保育に関する実技課題・実習課題・保育漢字テスト) を総合評価したうえで決定する。					課題	50%	
					学習意欲	50%	
使用テキスト・教材							
<ul style="list-style-type: none"> ・自分で作る BOOK&NOTE 教育・保育実習でよりよい時間を過ごそう！ (同文書院) ・教育実習事前事後指導 (近畿大学九州短期大学発行) ・知りたいときにすぐわかる幼稚園・保育所・児童福祉施設等実習ガイド (同文書院) 							
授業内容・授業計画							
			時間数			時間数	
1.	オリエンテーション 実習とは・実習生とは (自主実習振り返り)		4	12.	保育実習Ⅰを終えて		2
2.	幼稚園・保育所・施設の理解		4	13.	教育実習①に向けて		2
3.	保育者に望まれる資質		2	14.	指導計画の立て方②		6
4.	実習生と子どもとのかかわり		2	15.	実習直前準備		4
5.	保育者や職員とのかかわり		2	16.	教育実習①を終えて		2
6.	子どもの園生活		2	17.	まとめ		4
7.	指導計画のたてかた①		6				
8.	実習日誌の書き方		6				
9.	実習課題の立て方		2				
10.	実習直前準備・保育実習Ⅰに向けて		6				
11.	実習生として守るべきこと		4				
その他				関連科目			
				<ul style="list-style-type: none"> ・実習指導ⅠS ・実習指導ⅢS 			

シラバス (授業概要) 時間数は45分換算					年度	2024年度
					科目コード	H-K44
授業科目名		授業形態		学科・コース		
実習指導Ⅲ		必修		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
3	通年	必修	60	2	榛葉 幸子	
授業の目的・到達目標						
各実習の意義、目的や各施設と役割について理解し、自らの課題を明確にする。また、これまでの実習を振り返り、マナーの再確認や必要な知識や技術の習得を図り、自身が抱える実習に対する不安や困難を軽減する。						
授業の概要						
<ul style="list-style-type: none"> ・テキストを使用しながら、実習に必要な知識、マナー、子どもや保育者との関わり方、トラブルが起きた時の対策など具体的に学び、実習で活かせるようにする。 ・指導案を作成し、グループワークにて模擬保育を行う。 ・テーマに沿っての自分の考えや不安をグループやクラスで話し合う中で気持ちを共有する。また、不安をそのままにせず解決策を考えたり提示したりすることで自信を持って実習に臨めるようにする。 						
成績評価の方法						
指導案の作成、模擬保育、グループワークでの取り組みや発表等の授業への参加態度、課題を総合的に評価する。提出物については要求された機能が実現しており、かつ、決められた期日までに提出することが最低条件である。提出物が1つでも未提出であれば、成績の評価は行われない。					課題	60%
					授業態度	40%
使用テキスト・教材						
<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園・保育所・児童福祉施設実習ガイド (同文書院) ・指導計画・保育計画の立て方 (萌文書林) ・映像で学ぶ指導案と日誌の書き方 (新宿スタジオ) 						
授業内容・授業計画						
【前期】		時間数	【後期】		時間数	
1.	オリエンテーション	1	1.	保育実習ⅡSに向けて・実習のポイント	6	
2.	施設実習に向けて	2	2.	乳児の発達と保育について	4	
3.	施設実習事前指導	4	3.	10の姿・小学校接続をふまえた保育について	6	
4.	施設実習を終えて グループディスカッション・発表	4	4.	指導案作成と模擬保育	8	
5.	教育実習ⅡSに向けて・実習のポイント	4	5.	保育実習ⅡS事前指導	2	
6.	日誌・指導案の書き方復習	5	6.	保育実習ⅡSを終えて	2	
7.	指導案作成と模擬保育	4	7.	まとめ	2	
8.	教育実習ⅡS事前指導	4				
9.	教育実習ⅡSを終えて	2				
その他			関連科目			
			<ul style="list-style-type: none"> ・実習指導Ⅰ ・実習指導Ⅱ 			

シラバス (授業概要)					年度	2024年度
時間数は45分換算					科目コード	H-K45
授業科目名			授業形態		学科・コース	
レクリエーション			演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
3	通年	必修	30	2	実務経験のある教員	
授業の目的・到達目標						
年齢や目的、場面に合わせたレクリエーションを企画し、提供できる。 様々なレクリエーション活動を通してレクリエーションの技術を身に着けることができる。						
授業の概要						
レクリエーションとは何かを学び、楽しさを味わいながらレクリエーション指導の技術やアイデアを身に着けていく。また、様々な場面や目的・人数に応じたレクリエーションの意義を考察し、グループワークを通して身近な素材を使いオリジナルのレクリエーションやボードゲームを企画制作できる技術も身につけていく。						
成績評価の方法						
課題（小レポート）の評価点、学習意欲（グループワーク・発表含む）を総合評価したうえで決定する。					課題	70%
					学習意欲	30%
使用テキスト・教材						
・中学生・高校生でも盛り上がる! 学級レク厳選 120 (ほんの森出版)						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. アイスブレイク …レクリエーションの楽しさを味わう			2	4. オリジナルボードゲーム制作 (グループワーク)		8
2. レクリエーションとは			2	5. ボードゲーム体験会 (ゲームのプレゼン)		3
3. 年齢・目的に応じたレクリエーション				6. まとめ		1
3-1 乳幼児向けのレク			2			
3-2 学童向けのレク			3			
3-3 学生向けのレク			3			
3-4 会社で行うレク			3			
3-5 高齢者向けのレク			3			
その他				関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算			年度	2024年度
					科目コード	H-K46
授業科目名		授業形態		学科・コース		
リトミック		講義・演習		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
3	通年	必修	60	2	中津川 百世	
授業の目的・到達目標						
こどもの年齢に合ったティーチング、リズム、リズム演奏法が出来るようになる。 基礎リズムを習得し、リズム演奏やうたの伴奏などの読譜力の向上につなげる。 実際に、子どもたちに、リトミックを楽しく体験させられる指導力を身に付ける。						
授業の概要						
幼稚園、保育園、こども園、支援学校等で コミュニケーション能力を高められるよう、こどもの年齢に合ったティーチング、リズム、リズム演奏法を学ぶ。						
成績評価の方法						
期末試験、授業での学習意欲、参加態度、課題の取り組み方などを総合的に評価した上で決定する。					期末試験	40%
					課題	70%
					学習意欲	30%
使用テキスト・教材						
その都度、必要な資料を配布。						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1.オリエンテーション			1			
2.楽しいリトミックの経験			10			
3.基本的な動き、ステップなど			10			
4.ティーチング			6			
5.リズムの演奏法、リズムの応用			10			
6.基礎リズム			9			
7.リトミックの論理			2			
8.まとめ、実践			8			
9.期末試験			4			
その他				関連科目		
動きやすい服装、素足又は靴下で参加して下さい。 筆記用具持参						

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	H-K48
授業科目名			授業形態		学科・コース
制作演習Ⅱ			演習		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	30	1	吉村 香央里
授業の目的・到達目標					
素材の特性を理解し、子どもの発達を踏まえて、実習や保育の現場で生かせるような制作の方法や保育への展開の仕方を理解する。					
授業の概要					
制作の教育的意味を振り返り、子どもの発達を促す制作遊びとはどのようなものであるのか、実践を通して子どもの目線に立ち学ぶことで、実習や保育の現場で生かせる知識と技術を養う。					
成績評価の方法					
授業での積極性や理解度、グループワークでの協同性や積極性を学習意欲として評価する。 制作物の完成度と提出時期を課題として評価する。					課題 60% 学習意欲 40%
使用テキスト・教材					
幼稚園教育要領、保育所保育指針、連携型認定こども園教育・保育要領解説（フレーベル館）					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 保育における制作とは (1年次の振り返り)			2		
2. 実習に生かす遊べる玩具づくり (留意点と技術・導入方法を学ぶ)			8		
3. 自然物を用いた制作と遊び			4		
4. 壁面制作（グループワーク）			4		
5. 制作からつながる遊び			4		
6. お店屋さんごっこ (導入～展開)			8		
その他			関連科目		
			制作演習Ⅰ、Ⅲ		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	H-K49
授業科目名		授業形態		学科・コース	
制作演習Ⅲ		演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	通年	必修	60	1	戸塚 恵・榛葉 幸子
授業の目的・到達目標					
子どもの成長につなげるために、特性や発達段階に沿った制作遊びの導入・展開ができるようになる。様々な道具や素材を臨機応変に制作に取り入れるための知識と経験を蓄える。					
授業の概要					
保育における制作遊びの意義と子どもの発達過程を理解した上で、年齢や特性に応じた制作遊びの導入と展開について実践を通して学ぶ。教育要領や保育指針と実習の経験を踏まえて、教材研究の方法を学ぶ					
成績評価の方法					
通常授業での積極性や理解度と模擬授業での積極性を学習意欲として評価する。制作物や教材研究の完成度や提出時期を課題として評価する。					課題 60% 学習意欲 40%
使用テキスト・教材					
幼稚園教育要領、保育所保育指針、連携型認定こども園教育・保育要領（フレーベル館）					
授業内容・授業計画					
1. オリエンテーション 制作演習を学ぶにあたって 造形と発達の復習		時間数 4	3. お楽しみに使える制作 遊べる工作（グループワーク）		時間数 24
2. 子どもの発達と制作あそび 発達に応じたあそびにつなげる ① 0.1歳児の制作 ② 2.3歳児の制作 ③ 4歳児の制作 ④ 5歳児の制作		20	4. 各制作物の教材研究をまとめる 5. お楽しみ会を実施しながら発表		8 4
その他			関連科目		
			制作演習Ⅰ、Ⅱ		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	H-K50
授業科目名		授業形態		学科・コース	
絵本教育 I		講義・演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	30	1	森主 あゆみ
授業の目的・到達目標					
<p>絵本の特性について理解できる。</p> <p>絵本の子どもと絵本の関係や役割について説明できる。</p> <p>様々な絵本を知り子どもの年齢に応じた絵本の選定や読み聞かせができる。</p>					
授業の概要					
<p>多くの絵本に触れながら、まずは学生自身が絵本を楽しむことから始める。</p> <p>保育現場で絵本がどのように活用され、子ども達に親しまれているか事例を交えながら話していく。</p> <p>また、図書館司書による特別講座への参加。</p>					
成績評価の方法					
<p>課題 (授業で学んだ内容のレポート)、学習意欲 (授業態度や発表等の積極性) を総合して評価する。</p> <p>提出物については要求された機能が実現しており、かつ、決められた期日までに提出することが最低条件である。提出物が1つでも未提出であれば、成績の評価は行われない。</p>					<p>課題 50%</p> <p>学習意欲 50%</p>
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・保育をゆたかに絵本でコミュニケーション (かもがわ出版) ・絵本を学ぶ子どもの文化 (同文書院) ・このほんば〜った! (静岡市立図書館) 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. オリエンテーション		2	7. 特別講座		4
2. 児童文化財「絵本」を振り返る		2	8. 仕掛け絵本の制作・発表		14
3. 絵本と親しもう・子どもにとっての絵本		2			
4. 日本昔ばなしとは?		2			
5. 絵本と子どもの発達		2			
6. 様々な絵本		2			
その他			関連科目		
・グループディスカッションや発表を多く取り入れる			絵本教育II		

シラバス (授業概要)					年度	
					2024年度	
時間数は45分換算					科目コード	
					H-K51	
授業科目名			授業形態		学科・コース	
絵本教育II			講義・演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
3	前期	必修	60	2	森主 あゆみ	
授業の目的・到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・認定絵本土の役割について理解する。 ・認定絵本土に必要な絵本についての「知識」「技能」「感性」を身に着ける。 ・様々な分野や角度から絵本の基本的知識について深める。 						
授業の概要						
本科目は、認定絵本土養成講座カリキュラム及びガイドラインに基づき行われる。絵本総論及び各論を学ぶ中で認定絵本土に必要な「知識」「技術」「感性」を深め学んでいく。						
成績評価の方法						
課題の評価点、学習意欲を総合評価して決定する。					課題	50%
提出物については要求された機能が実現しており、かつ、決められた期日までに提出することが最低条件である。提出物が1つでも未提出であれば、成績の評価は行われぬ。					演習	50%
使用テキスト・教材						
認定絵本土養成講座テキスト (中央法規出版)						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. オリエンテーション			2	9. 絵本の持つ力		2
2. 絵本総論 (絵本とは何か)			2	(さまざまな角度から絵本を見る)		
3. 絵本各論 (絵本の歴史・絵本賞・視覚表現・言語表現・ 絵本の関わり・絵本の位置づけ)			8	10. 心に寄り添う絵本 (心のケアと絵本の可能性)		2
4. 様々なジャンルの絵本 (物語・昔話・童話・科学絵本)			6	11. 絵本のある空間 (絵本のある望ましい空間)		2
5. 絵本と出会う (保育、教育現場・図書館・書店)			8	12. 子供の心をとらえるもの (子供の心をとらえて離さないもの)		2
6. 絵本の世界を広げる技術 (絵本を探す・ワークショップ・絵本コンシ ェルジュ)			6	13. 大人の心を豊かにする絵本 (大人にこそ絵本を)		2
7. 絵本を紹介する技術 (ブックトーク・書評・紹介文等)			6	14. 絵本ホスピタリティに学ぶ (人を楽しませるための手法)		2
8. おはなし会の手法 (意義と目的・テクニック)			4	15. 絵本が生まれる現場 (作家の感性に触れる・絵本の編集)		4
				16. ディスカッション (絵本専門士としての今後の活動)		2
その他				関連科目		
				絵本教育 I		

シラバス (授業概要)				年度	
				2024年度	
				科目コード	
				H-K52	
授業科目名			授業形態		学科・コース
自然教育			講義・演習		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	通年	必修	30	1	実務経験のある教員
授業の目的・到達目標					
<p>幼児教育における自然体験活動の位置づけを理解し、自分なりの見識を持つことができる。 ネイチャーゲームを通して子どもの年齢や発達、興味に応じた自然体験活動を計画できる。 秋の自然物（どんぐり等）を使って幼児向けのゲームを企画・制作できる。</p>					
授業の概要					
<p>自然体験活動（ネイチャーゲーム）を通して感じたこと等アクティブラーニングを通して他の学生と共有しながら、保育者としての役割を考えていく。授業後半では、幼児向けのどんぐりゲームを企画・制作し、実際に子どもがゲームで遊ぶ姿を視聴しながら発達や興味関心を考察する。</p>					
成績評価の方法					
<p>学習意欲（授業態度）、課題（グループワーク・どんぐりゲーム制作）を総合的に評価する。</p>					<p>課題 80% 学習意欲 20%</p>
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> 体験と学びを深めるネイチャーゲーム（日本シェアリングネイチャー協会） その他必要に応じてプリントを配布する。 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 保育・幼児教育における自然教育とは		2	4. どんぐりゲーム制作		8
2. 自然体験活動(ネイチャーゲーム体験)			6. どんぐりゲーム体験会		4
2-1.幼児教育編		2			
2-2.小学校教育低学年編		2	7. まとめ		2
2-3.小学校教育高学年編		2			
3. モルック体験		4			
4. SDGsと幼児教育					
4-1.保育現場とSDGsの関係性		2			
4-2.ゲームを通してSDGsを学ぶ		2			
その他			関連科目		
			自然教育		

シラバス (授業概要)				年度	
				2024年度	
時間数は45分換算				科目コード	
				H-K54	
授業科目名			授業形態		学科・コース
交流ゼミⅡ			講義・演習		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	30	1	吉村 香央里
授業の目的・到達目標					
校内・校外の講師や同じ目的を持つ学生・実習生と交流を持つことで、今後の進路選択に役立てる。 普通の授業では学べない特別講座を通じて、実践力を身につけることができる。					
授業の概要					
保育特別講座を全4回に渡って開催し、保育・教育分野へのモチベーションを高める。 また、実習時に使える教材や遊びなどを多く学習する。					
成績評価の方法					
保育特別講座後のレポート提出(課題)によって評価する。 また、実習報告会での報告書や発表の姿勢(学習意欲)なども評価の対象とする。				課題	50%
				学習意欲	50%
使用テキスト・教材					
なし					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 保育 WELCOME パーティー			4	9. 実習報告会 (H3 保育実習Ⅱ)	
2. 実習報告会 (H3 施設実習)			2	10. 実習報告会 (H2 教育実習Ⅰ)	
3. 保育特別講座① 「絵本講座」			2		
4. 実習報告会 (H3 教育実習Ⅱ)			4		
5. 保育特別講座② 「絵本講座 (選び方・読み方)」			2		
6. 実習報告会 (H2 保育実習Ⅰ)			4		
7. 保育特別講座③ 「園長講座・施設長講座」			2		
8. 保育特別講座④ 「あそび講座」			2		
その他				関連科目	
				交流ゼミⅠ・Ⅱ	

シラバス (授業概要)				年度	
				2024年度	
				科目コード	
				H-K55	
授業科目名			授業形態		学科・コース
交流ゼミⅢ			講義・演習		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	通年	必修	30	1	榛葉 幸子
授業の目的・到達目標					
校内・校外の講師や同じ目的を持つ学生・実習生と交流を持つことで、今後の進路選択に役立てる。普段の授業では学べない特別講座を通じて、実践力を身につけることができる。					
授業の概要					
より実践的な保育特別講座を開催し、就職先で実際に使える知識・技術を高める。					
成績評価の方法					
実習報告会での発表内容・発表姿勢、及び、保育特別講座・交流イベント等への参加態度や実施後のレポート内容と提出状況を総合的に評価する。					課題 50% 学習意欲 50%
使用テキスト・教材					
なし					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 1年生との交流イベント			4		
2. 実習報告会① (施設実習)			4		
3. 1年生への制作講座準備			4		
4. 実習報告会② (教育実習Ⅱ)			4		
5. 実習報告会③ (保育実習Ⅲ)			4		
6. 保育特別講座 (保育ガイダンス、OB/OGセミナー)			4		
7. 近隣園との交流イベント			6		
その他			関連科目		
			交流ゼミⅠ・Ⅱ		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	H-K56
授業科目名		授業形態		学科・コース	
保育スキルアップ講座		演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	通年	必修	60	4	紅林江身子・小笠原香奈
授業の目的・到達目標					
<p>自らが楽しんで取り組み、実践授業を通して保育現場で自信を持ち指導できるような指導テクニックを身につける。</p> <p>また、様々な表現を学び保育に活かす方法を検討する。</p>					
授業の概要					
<p>“遊び” から始まる日常の保育の展開や実践的指導力の向上を図り、さらに園内の行事プログラムの指導計画まで発展させる。</p> <p>また指導者の資質を理解し、実践力を身につける。</p>					
成績評価の方法					
期末試験。学習意欲・レポート提出を総合的に判断する				期末試験	30%
				課題	30%
				学習意欲	40%
使用テキスト・教材					
なし					
授業内容・授業計画					
	時間数		時間数		時間数
◎テキスト Speaking of Childcare より	12	◎運動会におけるの身体表現	6		
◎歌やアクティビティ	10	(旗・パラバルーン・フラフープ等)			
◎コミュニケーション力について	4	◎サーキット運動	4		
◎試験	4	・子どもが自然に体を動かす仕組み作り			
中学英語		◎Cooking Activity	4		
保育の為の基礎英語		・様々な投げる動き			
レポート		◎縄跳び	4		
		◎Halloween Activity	2		
		◎様々な鬼ごっこ	2		
		◎海外の運動遊び	2		
		◎Safari Activity	2		
		・ネイチャーゲームから始まる保育			
		◎衣装製作	2		
		◎運動会プログラム発表・まとめ	2		
その他		関連科目			
【持ち物】					
運動靴・運動できる服装・縄跳び					

シラバス (授業概要)				年度		
				2024年度		
				科目コード		
				H-K57		
授業科目名			授業形態		学科・コース	
卒業研究			演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
3	通年	必修	60	2	榛葉 幸子 小笠原 香奈 大須賀 千尋	
授業の目的・到達目標						
保育・教育分野から主要なテーマを一つ選定し、研究する。 個々の到達目標を達成し、研究をまとめ発表できる。						
授業の概要						
保育・教育の分野からテーマを選び、研究発表する。 発表形式は、テーマによりプレゼンテーション形式または表現発表となる。 また、研究内容は、まとめとして提出する。						
成績評価の方法						
発表内容・研究意欲（計画性・実行性・まとめ等）を総合的に評価する。					発表 40% 研究意欲 60%	
使用テキスト・教材						
テキスト：なし						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. 卒業研究とは・グループ決め・ テーマ選定			6			
2. 卒業研究			20			
3. 論文作成			10			
4. プレゼンテーション準備			20			
5. 発表			4			
その他				関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度		
				科目コード	H-S05		
授業科目名		授業形態		学科・コース			
音楽表現技術S		講義・実技		こども保育科			
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	後期	必修	20	1	竹中 紀江		
授業の目的・到達目標							
<p>幼児教育に携わる保育者のさらなる音楽の技術の習得や、資質の向上ができる。 アンサンブルによって個々の能力を高め合い、音楽表現の強化ができる。</p>							
授業の概要							
<p>日頃の練習の成果を発表する場を設け、お互いの演奏を聴き合う。 子どもの歌のレパートリーを増やし、歌唱に伴うピアノ伴奏の編曲と移調法を学ぶ。アンサンブルの楽しさを感じながら、楽器演奏に必要な知識や技術のさらなる習得と、合唱における発声法を学び、音楽の表現方法を学ぶ。</p>							
授業への積極的参加 授業内での発表および課題 以上を総合的に評価する				発表	60%		
				課題	20%		
				学習意欲	20%		
教科書：「音楽(ピアノ教本)」「音楽(声楽教本)」 必要に応じて楽譜プリント配布							
授業内容・授業計画							
1、ピアノ発表会 発表会にて日頃の練習の成果を発表し、お互いの演奏を聴き合い、感想を述べる		時間数	4	3、幼児音楽のいろいろな歌 実習に合わせた曲を選曲。 個々のレベルに合う弾き歌い		時間数	4
2、幼児音楽のピアノ伴奏編曲と移調 自分のレベルに合うピアノ伴奏を編曲し楽譜を書きあげ、実践する。		時間数	4	4、合唱・器楽アンサンブル 自分のパートに責任を持ち、速度や強弱などの表現方法を学ぶ。		時間数	4
				6、アンサンブルの発表 まとめ		時間数	4
その他			関連科目				
			音楽Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 音楽表現(指導法) 幼児と音楽表現S				

シラバス (授業概要)				年度	
				2024年度	
時間数は45分換算				科目コード	
				H-S06	
授業科目名			授業形態		学科・コース
幼児と造形表現S			講義・実技		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	20	1	戸塚 恵
授業の目的・到達目標					
様々な素材や表現方法を通して自己表現する楽しさを知り、表現者として主体的に取り組むことで、幼児の造形表現への理解を深め、豊かな創造性を育む。必要な援助と成長を見守れる保育者の育成と実践的造形教育指導の習得を目指す。					
授業の概要					
デカルコマニー、マーブリング、スクラッチ、スパッタリングなど図画の基礎的技術の習得とそれらを応用した作品制作。粘土や工作を通して、道具や材料の使い方安全指導を学びながら作品を制作。それぞれの作品作りの感想をまとめながら指導に生かすポイントを精査する。					
成績評価の方法					
基礎的技術の取得度合い、作品の完成度、感想や制作ポイントのまとめ学習意欲を総合的に評価する。				期末試験	0%
				課題	80%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
画用紙、絵の具、スパッタリング、割りばし、粘土、糊、ハサミ、カッター、接着剤、各自必要な工作材料など					
授業内容・授業計画					
「いろいろな技法」 幼児の表現の発達について復習		時間数	「物語を想定した二つの工作」		時間数
1. デカルコマニー(合わせ絵)		10	1. 物語を考え制作物をデザインする		1
2. スタンピング(たたき絵)			2. 制作		7
3. スクラッチ			3. 制作物の発表		2
4. ドリッピング (ふき絵)					
5. マーブリング					
6. スパッタリング					
7. フロッタージュ					
8. オリジナル作品制作					
その他			関連科目		
			造形表現 (指導法)		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	H-S10
授業科目名		授業形態		学科・コース	
幼児と健康S		演習		子ども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	20	1	小笠原 香奈
授業の目的・到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・幼児期運動指針の要点や現代の子ども達における問題を理解し、保育に活かせるようになる。 ・正しいアライメントで指導する技術を身につける。 					
授業の概要					
<p>幼児期に必要な運動プログラムを学び実践する事で、保育者としての技術を身につけ、さらに保育者の資質についても学び、実践力向上を図る。</p>					
成績評価の方法					
学習意欲・レポート作成				課題	50%
				学習意欲	50%
使用テキスト・教材					
<p>【参考文献】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文部科学省 『幼稚園教育要領解説』 フレーベル館 ・厚生労働省 『保育所保育指針解説』 フレーベル館 ・日本発育発達学会 『幼児期運動指針 実践ガイド』 杏林書院 ・KIDSBICSHANDBOOK 日本子どもフィットネス協会 ・野津直樹、大浦賢治編著 『実践につながる新しい幼児教育の方法と技術』 ミネルヴァ書房 					
授業内容・授業計画					
		時間数		時間数	
◎オリエンテーション		2	◎雨の日の身体を使った遊び		2
◎幼児期運動指針とは		2	◎世界の幼児教育・保育と		2
◎幼児期運動指針のポイント		2	日本の幼児教育・保育		
◎子どもの身体活動の現状と問題点		2	◎保育計画の立て方と実践		2
幼児期における運動の意義			◎レポート作成		2
◎脳の発達について		2	◎保育者の資質とは		2
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)				年度	
				2024年度	
時間数は45分換算				科目コード	
				H-S15	
授業科目名			授業形態		学科・コース
社会的養護 IIS			演習		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必須	20	1	工藤 豪
授業の目的・到達目標					
社会的養護の実践に携わるために必要な知識や援助技術を身につけるとともに、被措置児童等への対応や子どもを社会的に養護することの意義・課題について理解し、自らの言葉で説明できるようになる。					
授業の概要					
社会的養護 I で学習した基本的知識を踏まえ、児童虐待における特徴や被措置児童等への対応について考察し、また地域社会の乳児院・児童養護施設の現状を把握するとともに、こうのとりのゆりかごや特別養子縁組に関する課題を考えながら、現代社会の社会的養護を担う保育者・養育者としての役割を果たせるよう、多角的視点から理解を深めていく。					
成績評価の方法					
スクーリングの最後にテキスト・ノート・資料等を参照しながら行う到達度確認(確認作業)、作業プリントやリアクションペーパーの内容等(課題)、授業時の受講態度やグループ考察時の参加姿勢など(学習意欲)、以上から総合的に評価する。				確認作業	50%
				課題	25%
				学習意欲	25%
使用テキスト・教材					
『MINERVA はじめて学ぶ子どもの福祉 5 社会的養護』(2018、伊藤嘉余子・福田公教編著、ミネルヴァ書房)					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. オリエンテーション・社会的養護に求められる専門性		2	7. 地域社会の子どもと養護(2)ー静岡県の乳児院と児童養護施設ー		2
2. 社会的養護の現状ー虐待を受ける子どもの増加ー		2	8. パーマネンシー保障について		2
3. 児童虐待(1)ー近年における実態と制度的対応ー		2	9. 「こうのとりのゆりかご」と特別養子縁組について		2
4. 児童虐待(2)ー被措置児童等の虐待に関する現状と課題ー		2	10. 授業のまとめと到達度確認		2
5. 児童虐待(3)ー虐待を受けた子どもへの対応に関する事例考察ー		2			
6. 地域社会の子どもと養護(1)ー静岡県における措置児童の現状ー		2			
その他			関連科目		
			社会的養護 I		

シラバス (授業概要)				年度	
				2024年度	
				科目コード	
				H-S16	
授業科目名			授業形態		学科・コース
障がい児保育S			講義		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	20	1	前田 基子
授業の目的・到達目標					
障害児保育に関する基本的知識を身につけ、障害児保育における意義や障害児の特性を踏まえた保育や支援のポイントについて考えることができるようになる。					
授業の概要					
障害の定義や捉え方、障害児保育の目的や意義、障害の特性を理解する。また、障害児保育・療育の歴史と展開を学ぶとともに、現在、障害がある子どもの様々な保育環境について知り、それぞれの良さや課題、関係性等について考察する。さらに、保育・療育の場における具体的な支援方法や保育者の留意点について理解を深める。					
成績評価の方法					
期末試験、テーマに対するレポート、学習意欲（受講態度及び取り組み姿勢）を総合的に評価する。				期末試験	40%
				レポート	30%
				学習意欲	30%
使用テキスト・教材					
よくわかる障害児保育 第2版 (尾崎康子・小林真・水内豊和・阿部美穂子編 ミネルヴァ書房)					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 障害の定義と捉え方			2		
2. 障害児保育の目的と意義			2		
3. 障害児保育・療育の歴史と展開			2		
4. 知的障害の特徴と保育現場での支援			2		
5. 自閉症スペクトラム障害の特徴と保育現場での支援			2		
6. 注意欠如・多動性障害、学習障害の特徴と保育現場での支援			2		
7. 分離保育と統合保育			2		
8. 障害のある子どもの保育環境や遊び			2		
9. 発達支援の様々な技法			2		
10. 理解到達度確認作業			2		
その他				関連科目	

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	H-S17
授業科目名		授業形態		学科・コース	
子どもの食と栄養S		講義・演習		子ども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	20	1	末永 美雪
授業の目的・到達目標					
小児期における心身の発達段階に応じた栄養法、集団給食、食育の重要性を理解できる。					
授業の概要					
講義として基礎知識を学び、それを踏まえて調理実習と食育活動を体験する。 保育者として小児に適切な食事を提供できるよう、各時期の栄養法を理解するとともに、調理技能を習得する。 また、効果的な食育を理解し、実践できるスキルを習得する。					
成績評価の方法					
調理実習及び食育への学習意欲・取り組み状況、実習課題や実習記録等を総合的に評価する。				実習記録	50%
				課題	40%
				学習意欲	10%
使用テキスト・教材					
テキスト：二見大介・高野 陽 編著『子どもの食と栄養』新版 北大路書房 参考文献『日本食品標準成分表』女子栄養大出版部 菅原 園他 『発育期の子どもの食生活と栄養』学建書院					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1日目			2日目		
1時間目	授乳栄養について	2	1時間目	幼児期の食育について	2
2時間目	調乳実習	2	(絵本・紙芝居)		
3時間目	調理実習 調理の基本① 炊飯	2	2・3時間目	調理実習 調理の基本③ 大人の食事	4
4時間目	調理実習 調理の基本② だし汁	2	4時間目	調理実習 調理の基本④ 離乳食・おやつ	2
5時間目	実習記録のまとめ、課題レポート	2	5時間目	実習記録のまとめ、課題レポート	2
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)				年度		
				2024年度		
時間数は45分換算				科目コード		
				H-S18		
授業科目名			授業形態		学科・コース	
子育て支援S			演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	前期	必須	20	1	実務経験のある教員	
授業の目的・到達目標						
保育士の行う保育の専門性を背景とした保護者に対する相談、助言、情報提供、行動見本の提示等の支援（保育相談支援）について、その特性と展開を具体的に理解する。						
授業の概要						
保育士の行う子育て支援の特性を理解し、支援の実際や今後の展開を学ぶ。 子育て支援における保育者の役割と職務内容を理解する。 様々な人々との連携した支援方法の基礎を習得する。						
成績評価の方法						
期末試験の結果、演習課題の評価点、学習意欲（授業態度）を総合評価したうえで決定する。実習課題については、要求された機能が実現しており、かつ、決められた期日までに提出することが最低条件である。実習課題が1つでも未提出であれば、成績の評価は行われない。					レポート 50% 課題 30% 学習意欲 20%	
使用テキスト・教材						
必要に応じてプリント配布						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1 子育て支援とは			2	6 園内・園外との連携と社会的資源		2
1.1 授業で学ぶ事柄について				6.1 職員間の連携		
1.2 子育て支援の制度的基盤				6.2 子育てネットワークの活用		
2 子育て支援の意義			2	7 記録・評価・研修について		2
2.1 子育て支援が求められる社会的背景				8 様々な子育て支援		4
2.2 子育て支援において保育所・認定こども園などが果たす役割				8.1 日常会話を活用した子育て支援		
2.3 子育て支援の独自性				8.2 文書を活用した子育て支援		
3 子育て支援の基本的価値			2	8.3 行事を活用した子育て支援		
4 子育て支援の基本的姿勢			2	8.4 地域子育て支援拠点における支援		
5 子育て支援の基本的技術			2	8.5 入所施設における子育て支援		
5.1 子育て支援のプロセス				8.6 通所施設における子育て支援		
5.2 子育て支援に役立つコミュニケーション技法				9 まとめと今後の課題		2
その他				関連科目		
また、子育て家庭に関するニュースや報道に関する事柄に関心を寄せておくこと。						

シラバス (授業概要)				年度	
				2024年度	
				科目コード	
				H - S20	
授業科目名			授業形態		学科・コース
教育実習事前事後指導S			講義・演習		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	20	2	森主 あゆみ
授業の目的・到達目標					
<p>教育実習に向けた「事前」の心構えや準備に関する基礎知識が理解できる。 観察記録の作成、指導計画の立案の方法を理解できる。 「事後」のまとめに関わった考察の視点を理解する。</p>					
授業の概要					
<p>幼稚園二種免許状取得に向けた教育実習が円滑かつ有意義に行われるよう、以下のような教育実習に関わった基礎的な理解の知識を深めていく。①幼児期の発達段階②幼稚園の機能と役割③幼稚園教諭の職務と役割④観察記録の作成方法⑤指導計画の立案補法。</p>					
成績評価の方法					
<p>授業態度（意欲・積極性）・課題 課題については要求された機能が実現しており、かつ、決められた期日までに提出することが最低条件である。課題が1つでも未提出であれば、成績の評価は行われない。</p>					<p>授業態度 50% 課題 50%</p>
使用テキスト・教材					
教育実習事前事後指導（近畿大学九州短期大学）					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1、教育実習で学ぶこと			2		
2、実習生の責任と義務			2		
3、実習の事前学習			2		
4、実習の実際			2		
5、実習の事後学習			2		
6、感染症対策について			2		
7、実習記録作成について			2		
8、日誌、指導案の書き方			4		
9、まとめ			2		
その他				関連科目	

シラバス (授業概要)					年度	
					2024年度	
時間数は45分換算					科目コード	
					H-S22	
授業科目名			授業形態		学科・コース	
教育実習①S			その他		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	後期	必修	30	1	森主 あゆみ	
授業の目的・到達目標						
<p>幼稚園における教育内容や幼稚園の機能について、体験を通して理解できる。</p> <p>幼稚園教諭の職務および役割について、体験を通して理解できる。</p> <p>幼稚園での1日の教育内容を振り返り、観察記録を作成することができる。</p>						
授業の概要						
<p>専門教育科目で獲得した幼児教育に対する知識、技能を活用しながら、実践的指導力を体験的にまた総合的に高めていくことを目標とする。この目標を達成するために1週間の観察実習・参加実習・部分実習を主とする実習を行うこととする。</p>						
成績評価の方法						
<p>1. 実習日誌の記述内容①「観察記録」の記述内容、②「本日の実習についての反省・感想・今後の課題など」の記述内容</p> <p>2. 実習園による評価</p> <p>3. 実習後の事後レポートなどの提出物</p> <p>提出物については要求された機能が実現しており、かつ、決められた期日までに提出することが最低条件である。提出物が1つでも未提出であれば、成績の評価は行われない。</p>					実習日誌の記述内容	50%
					実習園による評価	50%
使用テキスト・教材						
授業内容・授業計画						
<p>1. 各園実習</p> <p>以下のような観察視点から幼稚園においてどのような活動が、どのような方法で行われているかを把握することに努める。</p> <p>①幼稚園における1日の生活・活動の流れと生活・活動内容の概要</p> <p>②遊び生活場面での園児の活動</p>			時間数 30	③園児の行動に対する幼稚園教諭の対応		時間数
その他				関連科目		
<p>参加実習では、指導教員の指導と援助を受けながら、教育活動や園務に積極的に従事する。</p>				<p>教育実習②S</p> <p>教育実習事前事後指導S</p>		

シラバス (授業概要)				年度		2024年度	
				科目コード		H-S23	
授業科目名				授業形態		学科・コース	
教育実習②S				その他		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
3	後期	必修	90	3	森主 あゆみ		
授業の目的・到達目標							
<p>幼稚園における教育内容や幼稚園の機能について、体験を通して理解できる。</p> <p>幼稚園教諭の職務および役割について、体験を通して理解できる。</p> <p>幼稚園での1日の教育内容を振り返り、観察記録を作成することができる部分実習または、全日実習の指導計画を立案することができる。</p>							
授業の概要							
<p>専門教育科目で獲得した幼児教育に対する知識、技能を活用しながら、実践的指導力を体験的にまた総合的に高めていくことを目標とする。この目標を達成するために3週間の指導実習を主とする実習を行うこととする。</p>							
成績評価の方法							
<p>1.実習日誌の記述内容①「観察記録」の記述内容、②「本日の実習についての反省・感想・今後の課題など」の記述内容</p> <p>2.指導計画の記述内容①「朝の会」「絵本の読み聞かせや紙芝居、手遊びや音楽の弾き歌いなどの短時間でできる活動」「昼食指導」「帰りの会」の部分実習②「午前の主な活動」「午後の主な活動」の部分実習</p> <p>3.実習園による評価</p> <p>提出物については要求された機能が実現しており、かつ、決められた期日までに提出することが最低条件である。提出物が1つでも未提出であれば、成績の評価は行われない。</p>						<p>実習日誌・指導計画の記述内容 50%</p> <p>実習園による評価 50%</p>	
使用テキスト・教材							
授業内容・授業計画							
<p>1.各園実習</p> <p>1 回目の実習を基礎として、専門教育科目で学習したあらゆる知識・技能を統合しながら、以下のような学習内容を獲得していく。</p> <p>①部分実習、全日実習の指導計画の作成および指導</p> <p>②幼稚園教諭としての保育技能の取得および態度の養成</p>			時間数	90	③幼稚園と家庭との連携の内容と方法の理解		時間数
その他				関連科目			
担当職員の指導や助言に従い、積極的に教育実習に参加すること				教育実習②S 教育実習事前事後指導 S			

シラバス (授業概要)				年度	
				2024年度	
				科目コード	
				H-S24	
授業科目名			授業形態		学科・コース
保育・教職実践演習S			講義・演習		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	前期	必修	20	2	森主 あゆみ
授業の目的・到達目標					
自らの学びを振り返り、保育者として必要な知識・技能の習得・コミュニケーション能力を確認する。また、保育者としての使命感と職務内容について再確認する。					
授業の概要					
保育者として必要な資質能力の習得を確認し、保育の現場ですぐに活用できる技術や知識をワークやロールプレイにより学習する。実習でのエピソードなど子どもや保育への思いを再認識し仲間と共有を図りながら意欲向上につなげる。					
成績評価の方法					
課題の評価点、学習意欲を総合評価して決定する。 提出物については要求された機能が実現しており、かつ、決められた期日までに提出することが最低条件である。提出物が1つでも未提出であれば、成績の評価は行われない。					学習意欲 50% 発表 50%
使用テキスト・教材					
必要なプリントを配布する。					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. オリエンテーション 保育者として必要なこと			2		
2. 保護者理解と支援			2		
3. 子どもと保育のすばらしさ			2		
4. 安全管理			2		
5. 保育者とコミュニケーション			2		
6. 保育者に必要なソーシャルマナー 制作物の作成・発表			10		
その他				関連科目	
				保育・教育実践演習	

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	H-S26
授業科目名		授業形態		学科・コース	
乳児保育IIS		講義・演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	20	2	森下 みつ美
授業の目的・到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・0.1.2歳児の発育と発達の特徴について理解することができる。 ・保育者として必要な知識と技能の基礎を身につける。 					
授業の概要					
<p>基本教科書に沿って授業を進めていくが、キーワードとなる考え方やワードには補足して説明する。乳児の接し方については、教員が実演したり、学生に実践してもらったりして技能を獲得できるようにする。計画立案や書類作成においては実際に書く機会を設ける。</p>					
成績評価の方法					
期末試験、課題（小レポート・課題提出）、学習意欲（授業態度・発表・出欠状況）を総合的に判定し評価する。課題においては、決められた期日までの提出と課題内容に沿ったものであることが求められる。				期末試験	40%
				課題	30%
				学習意欲	30%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・はじめて学ぶ乳児保育 同文書院 ・保育所保育指針 ・認定こども園教育保育要領 ※必要なプリントを配布する					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 乳児保育のポイント（接し方、環境、観察）		2			
2. 乳児の衣服・おむつ替えの基礎知識		2			
3. 乳児の授乳・食事の基礎知識		2			
4. 乳児の睡眠の基礎知識		2			
5. 乳児保育における衛生管理		2			
6. 乳児保育における安全管理		2			
7. 連絡帳の書き方		2			
8. 乳児の遊びや玩具		6			
その他		関連科目			
		乳児保育I			

シラバス (授業概要)				年度		
時間数は45分換算				2024年度		
				科目コード		
				H-S27		
授業科目名			授業形態		学科・コース	
こどもの健康と安全S			講義・グループワーク		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
3	前期	必須	20	1	池ヶ谷 麻紀子	
授業の目的・到達目標						
<p>保健的視点で見た保育環境や日常生活援助について理解できる。 こどもの健康で安全な生活を支えるための保育者の役割を理解できる。</p>						
授業の概要						
<p>関連するガイドラインや近年の情報を踏まえ、保育における衛生管理・事故防止及び安全対策・危機管理・災害対策について具体的に学ぶ。</p>						
成績評価の方法						
<p>授業、グループワークへの参加意欲から、学習意欲を評価する。 事後レポートにより、授業内容を理解しているか、自己の考えをしっかりと持ち、学びを保育に活かそうとしているかを評価する。</p>					<p>レポート 60% 学習意欲 40%</p>	
使用テキスト・教材						
<p>「よくわかる子どもの保健」(ミネルヴァ書房) 講師が得ている最新の情報があれば、授業の中で提供します</p>						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. 保健的観点を踏まえた保育環境及び援助			2	9. 健康および安全の管理と実施体制		2
2. 保育における健康及び安全の管理			4	10. まとめ		2
3. こどもの体調不良等に対する適切な対応			2			
4. 感染症対策			2			
5. 保育における保健的対応の基本			1			
6. 個別的配慮を要する子どもへの対応			2			
7. 障害がある子どもへの対応			2			
8. 様々な保育の場			1			
その他				関連科目		

シラバス (授業概要)					年度	2024年度
時間数は45分換算					科目コード	H-S28
授業科目名			授業形態		学科・コース	
保育実習 I (保育所) S			その他		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	前期	必修	60	2	榛葉 幸子	
授業の目的・到達目標						
<p>保育現場で保育を経験することにより、これまで学習してきた理論や技術が、保育の実践と具体的にどのようにつながるか理解することができる。</p> <p>実践を通じて、保育の技術と能力が向上できる。</p> <p>自分なりの保育観や子ども観を深め確率できる。</p>						
授業の概要						
<p>「保育実習」は、保育資格を取得するために児童福祉施設で行う実習である。10日間の実習で、次の内容を体験的に学ぶ。①保育所における1日の流れ②子どもへの理解を深める③保育士の業務内容や理論について学ぶ④保育所等の技術や記録方法について実践的に学ぶ⑤保育士を志すものとして自覚を高める</p>						
成績評価の方法						
実習日誌、事後レポート等の提出物、実習園の評価を総合評価したうえで決定する。					実習日誌の記述内容	50%
					実習園による評価	50%
使用テキスト・教材						
授業内容・授業計画						
1. 「保育所実習」では、以下の観点から保育所における保育がどのようになされているかを理解する。			時間数	③保育所における保育者の保育内容、役割などを理解する		時間数
①保育所の内容、機能について理解する 保育所の1日の流れやデイリープログラムの理解等			60	④日誌や指導案の書き方を学ぶ 観察すべき視点をとらえ、ねらいに基づいた気づきを記述する。		
②保育所における子どもの理解。 年齢や月齢ごとの子どもの発達とその特徴						
その他			関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。			保育実習 I (施設) S			
担当保育者の指導や助言に積極的に保育実習に参加すること。			保育実習 IIS			
			保育実習事前事後指導 I・IIS			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	H-S29
授業科目名		授業形態		学科・コース	
保育実習Ⅰ (施設) S		その他		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	後期	必修	60	2	小笠原 香奈
授業の目的・到達目標					
施設現場で養護と療育を経験することにより、これまで学習してきた理論や技術が、保育の実践と具体的にどのように繋がるか理解することができる。 実践を通じて、保育の技術、能力が向上できる。 自分なりの保育観や子ども観を深め確率できる。					
授業の概要					
「保育実習Ⅰ」は、保育士資格を取得するために児童福祉施設（保育所以外）で行う実習である。乳児院・児童養護施設・母子生活支援施設などの養護施設や障害時入所施設・障害者支援施設などの障害者施設で実習を行う。それぞれ10日間の実習で次の内容を体験的に学ぶ。①施設における1日の流れ②子どもや障害者への理解を深める③施設職員の業務内容や修業倫理について学ぶ④施設の技術や記録方法について実践的に学ぶ⑤保育士を志すものとして自覚を高める					
成績評価の方法					
実習日誌、事後レポートの提出、実習園による評価を総合評価したうえで総合的に評価する。				実習日誌の記述内容	50%
				実習園による評価	30%
				課題	20%
使用テキスト・教材					
授業内容・授業計画					
1. 「施設実習」では、以下の観点から施設における保育がどのようになされているかを理解する。 ①施設の内容、機能などを理解する。 1日の流れ、子どもや障害者の活動など ②施設職員の職務内容および役割、また他の職員とのチームワークなどの理解		時間数 60	③子どもや障害者を取り巻く社会や家族の問題について理解する ④日誌の書き方を学ぶ		時間数
その他		関連科目			
担当職員の指導や助言に従い、積極的に保育実習に参加すること		保育実習Ⅰ (保育所) S 保育実習ⅡS 実習事前事後指導Ⅰ (保育) (施設) S			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	H-S30
授業科目名		授業形態		学科・コース	
保育実習事前事後指導 I (保育所) S		講義・演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	20	1	榛葉 幸子
授業の目的・到達目標					
<p>保育実習の全体的な枠組みを理解し、実習に挑む心構えができる。</p> <p>実習のねらいの立て方や実習日誌の書き方などに関わる知識と技術を身につけることができる。</p> <p>実習の総括と自己評価を行い、新たな課題や学習目標が明確にできる。</p>					
授業の概要					
<p>保育実習の全体的な枠組みを理解し、具体的な内容を通して保育実習についての授業を行う。保育所実習前にすべき事柄・指導計画案の作り方・実習記録の作成および、実習後にすべき事柄などを中心に具体的な事例に基づきながら行っていく。</p>					
成績評価の方法					
課題の提出状況および内容、授業への参加態度を総合的に評価する。					課題 70% 学習態度 30%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・知りたいときにすぐにわかる 幼稚園・保育園・児童福祉施設等 実習ガイド (同文書院) ・保育実習事前指導 (近畿大学九州短期大学) ・保育所保育指針解説 ・実習の記録と指導案 (ひかりのくに) 					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 保育所実習の全体の流れと諸注意 子どもの発達と注意点			4		
2. 保育実習の意義・目的・内容について 保育所の1日の流れとデイリープログラムの理解			4		
3. 保育実習のねらいについて 実習日誌の書き方			10		
4. まとめ			2		
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。			保育実習事前事後指導 I (施設) S 保育実習 I S 保育実習 II S		

シラバス (授業概要) 時間数は45分換算					年度	2024年度
					科目コード	H-S31
授業科目名			授業形態		学科・コース	
保育実習事事前後指導 I (施設) S			講義・演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
3	前期	必修	20	1	小笠原 香奈	
授業の目的・到達目標						
<p>施設実習の全体的な枠組みを理解し、実習に挑む心構えができる。</p> <p>指導計画の作成や実習日誌の書き方などに関わる知識と技術を身に付けることができる。</p> <p>実習の総括と自己評価を行い、新たな課題や学習目標が明確にできる。</p>						
授業の概要						
<p>施設実習の全体的な枠組みを理解し、具体的な内容を通して施設実習についての授業を行う。施設実習前にすべき事柄・実習記録の作成および、実習後にすべき事柄などを中心に具体的な事例に基づきながら行っていく。</p>						
成績評価の方法						
課題 (事前レポート、事後レポート含む) の評価点、学習意欲を総合的に評価する。					課題	50%
					学習意欲	50%
使用テキスト・教材						
<ul style="list-style-type: none"> ・知りたいときにすぐにわかる 幼稚園・保育園・児童福祉施設等 実習ガイド 同文書院 ・保育実習事前指導 近畿大学九州短期大学 ・保育所保育指針 						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. 社会福祉施設とは 施設における役割と機能			4			
2. 施設における保育内容と養護 施設実習に関する基本的理解と諸注意			4			
3. 施設職員 (保育士) の役割			4			
4. 実習記録作成について 実習日誌の書き方			8			
その他				関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。				保育実習事事前後指導 I (保育) S 保育実習 I S 保育実習 II S		

シラバス (授業概要)				年度	
時間数は45分換算				2024年度	
				科目コード	
				H-S32	
授業科目名			授業形態		学科・コース
保育実習ⅡS			その他		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	前期	必修	60	2	榛葉 幸子
授業の目的・到達目標					
<p>「保育実習Ⅰ」を通して学んだ技術と理論を基礎として、保育士として必要な資質、能力、技術が向上できる。</p> <p>子育て支援をするために必要な知識・技術とニーズに対する理解力・判断力を養うことができる。</p>					
授業の概要					
<p>「保育実習Ⅱ」では、前回の保育所実習を生かし、子どもの年齢や発達に応じた保育展開、状況に応じた保育の実践、さらに子育て支援のとしての保育所の役割を踏まえた保育実践に努める。</p> <p>「保育実習Ⅱ」を履修するためには、「保育実習参加資格」の条件を満たさなければならない。「また、「保育実習Ⅰ」を終えておかななければならない。</p>					
成績評価の方法					
実習日誌、事後レポートなどの提出物、実習園による評価を総合的に評価する。				実習日誌の記述内容	50%
				実習園による評価	50%
使用テキスト・教材					
授業内容・授業計画					
1. 「保育実習Ⅱ」では、以下の観点から保育士としての実践力を高めていくよう努める。			時間数	時間数	
<p>①子どもの年齢や発達に応じた保育や遊びの展開を行う。</p> <p>②その場の状況に応じた子どもの対応と保育について理解する。</p> <p>③支援の必要な子どもや保護者への対応について理解する。</p>			60	<p>④延長保育や休日保育、育児相談など子育て支援事業の理解。</p> <p>⑤保育の計画、実践、観察、記録及び自己評価等の実践と理解。</p> <p>⑥保育士としての自己の課題を明確にする。</p>	
その他			関連科目		
できるだけ、部分実習や全日実習を行い、実践力を養うよう努めること。			<p>保育実習Ⅰ (保育所) S</p> <p>保育実習Ⅱ (施設) S</p> <p>保育実習事前事後指導 S</p>		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度	
				科目コード	H-S33	
授業科目名			授業形態		学科・コース	
保育実習事前事後指導ⅡS			講義・演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
3	必修	前期	20	1	榛葉 幸子	
授業の目的・到達目標						
<p>「保育実習事前事後指導」「保育実習Ⅰ（保育所）」、またその他の教科で学習した内容を基盤に、保育所の理解、子どもや家庭への支援について理解ができる。</p> <p>指導計画の作成や記録など保育の実践力を養う。</p> <p>保育士として自己の課題を明確化できる。</p>						
授業の概要						
<p>「保育所実習Ⅰ（保育所）」での自己評価と課題・学習目標について再度確認する。それに基づき、具体的な内容を通して、実習計画作成、実践、日誌の記録など、より実践的な内容を学習する。さらに、「保育実習Ⅱ」に関する目的を明確にし、「保育実習Ⅱ」の終了後には、自己評価と保育士としての自己課題について考察する。</p>						
成績評価の方法						
課題（「保育所実習Ⅱ」の実習目標、課題、実習事後レポート）の評価点、学習態度（発表も含む）を総合評価したうえで決定する。					課題 70% 学習態度 30%	
使用テキスト・教材						
知りたいときにすぐわかる 幼稚園・保育園・児童福祉施設等 実習ガイド（同文書院） 保育実習事前指導（近畿大学九州短期大学） 保育所保育指針解説（フレーベル館） 実習の記録と指導案（ひかりのくに）						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. 保育実習Ⅱの目的・意義について 保護者・家庭への支援と地域社会の連携			4			
2. 保育実習Ⅱに向けた、各自の実習目的、 課題、学習計画の作成			8			
3. 教材研究・指導計画の作成			4			
4. 保育実習Ⅱを終えて 自己評価と自己課題			4			
その他			関連科目			
			保育実習事後指導ⅠS 保育実習ⅠS 保育実習ⅡS			